

【達成状況の目安】◎：年度目標以上のものが達成できた　○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた　×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

◆基本方針別取組状況

基本方針	取組項目数	重点取組項目数	重点取組項目の達成状況		主な取組内容
1 心身の健康と交流の場づくり	8	8	◎	1	・各サロン活動、ふれあいコンサート、障害者バス旅行など、交流と介護予防に重点をおき実施。下半期からは、概ねコロナ前の活動規模の水準まで回復している。【朝日ヶ丘】 ・散歩クラブの参加グループが1つ増え、5グループとなった。また、横橋小学校体育館において、夏休みカレー食堂を新たに開催した。更に、こども防災教室や落語会等のイベントも実施した。【横橋】 ・いきいきサロンは、月2回継続実施し、ふれあい食事サービスは年4回配食方式で実施した。【幕張・武石】 ・ふれあい3事業は78ヵ所で開催、敬老会は4か所（9町内自治会）で開催された。また、柏井地区子ども会で「歩いてピンコ」を実施し、併催で認知症の方への声かけ・見守り訓練を実施した。【花見川】 ・社会福祉法人やあんしんケアセンターと連携し、多世代交流カフェの活動に参画した。【こてはし台】 ・全世代参加型の新規事業立ち上げに向けて、検討を行った。【こてはし台】 ・地域内で活動している団体や行政の方を講師に招き、隔月に1回（2部制）セミナーを開催し、地域の方々に行政の制度や地域の活動、問題などについて、理解を深めていただく機会を提供した。【天戸】 ・「福祉まつり」を4年ぶりに再開、様々な団体との連携により、2会場で実施した。【さつき】
			○	6	
			△	0	
			×	1	
2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	16	16	◎	0	・地域に（見守りに関する）アンケートを取る方向で動くことができた。【花見川】 ・敬老会の再開や各サロン活動・親子の集いの継続により、顔の見える関係づくりに努めた。また、「花園おせっかい」活動や地区部会だよりを通じて見守り活動等の啓発活動を実施した。【花園】 ・ある自治会では、分散避難の実施に向けチラシで周知し、訓練を実施。終了後に安否確認も実施した。【花園】 ・あんしんケアセンターや消費生活センターと連携し、講演会を実施した。また、地域運営委員会や学校評議会等の会議が再開されたことにより、地域の各種団体等と連携を図ることができた。【朝日ヶ丘】 ・町内自治会を通じて、見守りたよりを配布・回覧した。また、ポッチャイベントの開催、新規サロン開設、県立特別支援学校イベントを通じて交流を図るとともに、見守り活動を継続実施した。【こて台中】 ・令和5年度は、避難行動要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行い、訪問を実施した。【幕張・武石】 ・あんしんケアセンターと連携し、専門医による認知症予防講座をオンライン形式で実施した。【幕張・武石】 ・3町内自治会で月1回の見守り活動を継続実施した。また、子ども会行事での認知症啓発活動、認知症サポーター養成講座の開催、地域ケア会議等へ参加した。【花見川】 ・花見川団地内の支え合い活動を継続実施した。【花見川2】 ・地域ケア会議に参加し、「高齢化地域の課題」について各団体と意見交換を行った。【こてはし台】 ・サロンにあんしんケアセンター等の関係職員を招き、フレイル予防や健康寿命延伸に努めた。【天戸】 ・「高齢者緊急通報システム」は有効な手段であるため、普及・啓発活動を行った。【天戸】 ・避難行動要支援者名簿の申請団体の普及・啓発に向け民生委員との情報交換に努めた。【天戸】 ・地区部会活動を通じて、一部の関係機関と連携強化を図れた。【天戸】 ・「ご近所のたすけあい」活動を継続実施。ボランティアだよりにスーパー等の宅配状況を掲載した。【さつき】 ・朝のゴミ出し支援は継続して実施。また、社会福祉法人の車輛を利用した買物支援事業を年5回実施した。【畑】
			○	12	
			△	3	
			×	1	
3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	7	7	◎	1	・ボランティアの発掘等に向け検討会議を開き、組織の見直しを図り、次年度から動けるようにした。【花見川】 ・ボランティア講座の開催に向け、話し合いを持ち準備を進めた。【花見川】 ・地区部会の担い手確保を図るため、SNSを通しての広報活動を検討した。地区のイベント開催時に、地区部会の担い手確保を図るためパネルやポスターを展示した結果、新規協力者の確保につながった。【朝日ヶ丘】 ・専門職を講師に迎え健康体操教室を開催し、高齢者の介護予防や担い手の確保等に努めた。【花見川2】 ・団地内に新たに子どもカフェを立ち上げ、子どもたちの居場所づくりに努めた。【花見川第2】 ・ホームページの充実に向けて、体制強化の検討を行った。【こてはし台】 ・ホームページ・メールマガジンの管理充実の検討は行ったが、広報紙の発行には至らなかった。【天戸】
			○	2	
			△	1	
			×	3	
4 安全・安心なまちづくり	3	3	◎	0	・町内自治会によっては、避難所運営マニュアルの改定を行い、訓練を実施した。また、分散避難における支援物資を得る方法のお知らせ文書を作成した町内自治会もあった。【花園】 ・避難所運営委員会は、地区部会内3か所と地区部会外との混合構成3か所で構成されている。また、防災防犯パトロールについては、毎月13か所、不定期3か所、歳末4か所で行われている。【花見川】 ・分散避難推進を目的とした避難施設の増設の検討を近接の町内自治会と行った。【天戸】
			○	0	
			△	2	
			×	1	
今年度の振り返り	34	34	◎	2	令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第5類へと移行となったこともあり、食事を伴う活動など、コロナ禍では全く開催することができなかった活動も再開されるようになってきた。 また、地域によっては、新規事業にも取り組むなど、コロナ前の活気がようやく地域に戻ってきた感があった。
			○	20	
			△	6	
			×	6	

今後の課題と方針	新型コロナウイルス感染症による地域への影響もだいぶ緩和され、地域全体の活動が徐々に再開されたことにより、地域全体に活気が戻りつつある。しかし、一方で地域福祉活動の停止が長期化したことにより、担い手の高齢化や次世代へのノウハウの継承が課題となっている。 今後は、第5期花見川区支え合いのまち推進計画に基づき、地域の実情に応じた活動を展開するとともに、これらの地域課題解決にむけ、関係機関や団体との連携強化を図っていきたい。
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月12日（水）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和5年度）について ・花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和4年度）の提出について
第2回	12月15日（金）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和5年度）中間報告について ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第25号）原稿案について ・花見川区支え合いのまち推進協議会委員の改選について ・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の一部見直しについて ・支え合いのまち推進計画の令和4年度の推進状況について【再掲】
第3回	令和6年3月8日（金）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和5年度）実績報告 ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第25号）の発行について ・花見川区支え合いのまち推進協議会委員の推薦依頼について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第25号	令和6年3月19日（火）	発行部数：6,000部 主な配布先：各町内自治会へ郵送、窓口配布270部

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

朝日ヶ丘地区部会『クリスマス会』

朝日ヶ丘地区部会では、毎月第4金曜日に「子育てサロンたんばば」を開催しています。6ヶ月から3歳までの子どもと保護者を対象に、自由に遊んだり、おしゃべりや情報交換をしたり、楽しみながら仲間づくりができる場です。
令和5年12月22日には、クリスマス会を開催し、ピアノの生演奏に合わせてクリスマスソングをみんなで歌うなど、楽しいひと時となりました。初めての方でも気軽に参加できるサロンになっています。



畑地区部会『買物支援サービス事業』

畑地区部会では、令和元年12月に社会福祉法人齊信会畑町ガーデンと民生委員・児童委員の協力を得て、買物支援サービス事業の試行を実施しました。その後、コロナ禍で実施が難しい状況が続きましたが、令和5年10月26日に3年ぶりに試行を再開できました。この日は、畑町ガーデンの送迎車が参加者3名のご自宅にお迎えにうかがい、JA千葉みらい農産物直売所しよいか〜ごへ。約1時間の買い物を満喫し、帰りの車内では楽しい会話が盛りあがりました。参加者の方々は、「楽しくおしゃべりもでき、協力員さんがいるので重いものも買うことができて助かりました」とおっしゃっていました。



◆区の地域福祉に関する紹介事例等

あんしんケアセンター花見川『認知症キッズサポーター養成講座』

令和5年11月7日、作新小学校にてあんしんケアセンター花見川による、「認知症キッズサポーター養成講座」が開催されました。

参加したのは、4年生の56名と教員2名。

本講座は、認知症を正しく理解し、行動できるように働きかける体験型講座です。

紙芝居では、あんしんケアセンターの職員と教員が、認知症の高齢者、その家族に扮し、認知症の特徴的な症状や、望ましい接し方をわかりやすく演じました。紙芝居のあとの認知症クイズでは、子どもたちも真剣そのもの。街なかで困っているお年寄りと出会ったら、優しく声を掛けられる、頼もしい認知症サポーターに成長してくれることでしょう。

あんしんケアセンターでは、小学校の総合学習の一環として、「認知症キッズサポーター養成講座」を順次開催して参ります。



あんしんケアセンターこてはし台『多世代交流 ○○（まるまる）カフェ』

令和5年9月こてはし台地域ケア会議で、多世代交流の機会を作り、地域からの孤立予防等の必要性を確認しました。それを受け、令和元年度からコロナの影響で開催延期となっていた認知症カフェ「○○カフェ」開催に向け動き出しました。

自治会、地区部会、社会福祉法人オリーブの樹、こてはし台・横戸台ボランティアの会、206地区民生委員・児童委員の協力を得て、11月からオリーブハウスのフリースペースで月一回の「○○カフェ」を開催することが出来ました。写真はマスコットづくりの様です。

「○○カフェ」は、地域住民や認知症・障害のある方、そのご家族等、どなたでも来られるカフェをコンセプトとし、○○の部分は、来られた方自身が好きなように名前を決めてもらえたらとの思いがあります。地域の人達が気軽に集い、認知症の人や家族の悩みを共有し合いながら、専門職に相談もできる場所となっています。



障害者福祉サービス事業所オリーブハウス『コミュニティコンサート』

社会福祉法人オリーブの樹は、障害者の就労や地域生活を援助する事業を展開しています。一方、法人の施設がこてはし台団地に隣接する場所にあることから、この地域の方々に向けての「ふれあいフェスティバル」の開催や高齢者のお困りごとを助ける「ごようき活動」等の地域貢献事業も行っています。

その一環として毎年コミュニティコンサートを開催していますが、昨年は12月16日に千葉市を拠点に音楽活動をしているシンガーソングライターの松尾貴臣さんに演奏いただきました。当日は地域の方々、当法人施設の障害者や職員の方々等、約60名が聴きにきてくださいました。コンサートでは、松尾さんのオリジナル曲、他のシンガーのカバー曲などを軽快な語りを交え歌い、参加者も一緒に手拍子をしたり歌ったりと、中には歌に合わせて踊りだす障害者の方も出て、会場内に一体感が作られ、とても楽しいコンサートになりました。



町内自治会等『敬老会の開催』

新型コロナウイルスの影響により、中止、縮小されていた敬老会が令和5年から本格的に復活しました。9月は敬老の日や週末に、各地区で敬老会が盛大に開催されました。

また、令和5年12月末の統計では、花見川区内にも100歳以上の方が84人もおられ、まさに、人生100年時代、長寿社会の進展を実感いたします。

披露された演目は、大いに盛り上がり、美味しいお弁当に舌鼓をうち、久しぶりの再会を喜び合う姿があちこちに。長寿を表彰された方もとても誇らしげでした。

敬老会の準備にあたった、運営スタッフも参加者の笑顔に癒され、苦労したかいがあったようです。

大きい会場、小さい会場と内容は様々ですが、どの会場も趣向を凝らした温かい敬老会となりました。



地区部会・民生委員児童委員協議会・赤十字奉仕団

『花見川区民まつりに参加』

令和5年10月22日に花島公園で、第31回花見川区民まつりが4年ぶりに開催され参加しました。

地区部会では、活動紹介パネルの展示でPRを行い、輪投げ等のゲームコーナーも設け、子どもも大人も笑顔で楽しんでいました。

民生委員児童委員協議会では、地域の身近な相談相手として広く知っていただくために、紹介パンフレットや啓発物品でPRを行い、多くの方に紹介することができました。

赤十字奉仕団では、ハイゼックス炊飯袋を使った非常食の炊き出しと豚汁の無料配布を行い、皆さん美味しいと大好評でした。

当日は、たくさんの方が訪れ、「来年もぜひ来てみたい」という声もかけていただきました。

